令和８年７月17日

浜田市議会議長　　様

住　　所　浜田市金城町七条ハ568-60
氏　　名　山品一興

紹介議員　　戸津川　美二

医療・介護に伴う水道料金負担の軽減制度創設に関するの請願について

【請願の趣旨】

1　願意

水道施設の老朽化対策や更新工事の必要性、水道料金の見直しが必要であることは十分理解しております。しかし、病気や障がい、介護が原因で水道使用量が増える世帯まで、一律に同じ負担を求めることが公平と言えるのか、疑問を感じています。

高齢化が進む浜田市では、今後、在宅で医療や介護を受けながら生活する市民がさらに増えていくことが予想されます。そのような方々が安心して暮らし続けられるよう、医療や介護に伴ってやむを得ず水道使用量が増える世帯への支援制度を検討していただきたいと考えます。

つきましては、次の事項についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

(1)医療・介護上の理由により水道使用量が増える世帯への水道料金減免制度または助成制度を創設すること。

(2)制度創設までの間、個別事情に応じた柔軟な支援や配慮を行うこと。

(3)水道料金改定に当たっては、医療・介護を必要とする世帯への影響を十分に検討し、市民に分かりやすく説明すること。

浜田市議会
受
8.7.17
付
第
115
号

この請願は、私たち夫婦だけのためではありません。これからの浜田市において、病気や障がい、介護を抱えながら暮らす多くの市民が、安心して生活できる環境づくりにつながることを願い、提出するものです。

何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます

2　理由

私は浜田市に住む年金生活者です。

妻は多系統萎縮症を患っており、病気の進行により頻尿となり、医療・介護上の理由から日常的に多くの水を使用せざるを得ません。また、衛生管理や介護のためにも、水道の使用は生活に欠かすことができません。

その結果、水道料金は約 5,000 円から約 10,000 円へと増加し、年金生活の私たちにとって大きな負担となっています。

浜田市上下水道部へ減免制度について相談しましたが、「制度がない」との回答でした。しかし、私たちのような世帯は、水を節約したくても、病気や介護のために使用量を減らすことができません。

以上のことから、本請願の提出に至る。